

太閤山だより 第58号

平成27年1月28日発行 発行者 坂又 国昭



平成27年を迎えました。今年も明るく住みよいまちづくりを目ざして、皆様とともに、太閤山地域を盛り上げていきたいと思えます。とりわけ今年は、太閤山地域振興会と太閤山自治会の一本化を始めとして、より明確な組織の再構築を行い、各事業においても新たな時代に対応したより一層の改善、充実を図ってまいります。あらためて住民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



火の用心、皆さんで警戒

年末警戒が、12月29日、30日各町内会で行われ、役員の皆さんが中心となって、それぞれの町内をパトロールされました。冬の夜、「火の用心」や拍手木などが響き渡り、精力的に巡回されました。

29日には、地域振興会、防犯協会、交通安全協会、各町内会を伺いました。どの町内会も暖かく迎えていただき、心より感謝申し上げます。

また消防団の皆さんには、連日に渡り夜遅くまで巡回いただきました。あらためて感謝いたします。

皆さんのおかげで、2014年の太閤山を無事締めくることができました。ありがとうございました。

御神火に祈りをこめて！

第30回左義長まつりが、1月12日(月祝)、太閤山ランドふれあい広場(野外劇場前)で開催されました。今年も寒い冬の日でしたが、12メートルの大竹3本がしっかり組み立てられ、立派な櫓が完成しました。

夏野射水市長を始め、県議会議員など多くのご来賓や太閤山、中太閤山、南太閤山の各地域振興会長などの皆さんが玉串を捧げ、神事が滞りなく終了した後、小学生の皆さんによって御神火が点火されると、力強い炎が上がりました。その後、しめ飾りや書き初めが次々と持ち込まれ、御神火に向かってそれぞれ今年の無病息災を祈る姿が見られました。飲食コーナーでは、恒例のあたたかいラーメンやおしるこに舌鼓を打つ姿も見られたほか、消防団による子どもたちの放水体験もあり、会場を盛り上げました。そして今年も、太閤山からたくさん運営にご協力をいただきました。ありがとうございました。

年の初めは威勢よく出初め式

射水市の消防出初め式が、1月4日(日)海王丸パークで行われました。当日は射水市内の消防団が一同に会し、約500人の団員と30台の消防車による分列行進などが披露されました。太閤山分団の皆さんも力強い行進や放水を行い、あらためて太閤山を守る意気込みを感じました。消防団の皆さん、お疲れさまでした。

冬のコミュニケーションは麻雀で

新春ふれあい麻雀大会が、1/25開催されました。当日は約30名の皆さんが参加されました。今年も、健康麻将越中ひばり会のご協力により全卓椅子卓が実現し、終始リラックスした雰囲気の中にも「ポン」「チー」「リーチ」「ロン」など、勝負に力の入る声があちこちから響いていました。

結果は、

- 優勝 千成第一 今村 寿さん
- 次勝 太閤山3・4丁目 京角 修一さん
- 参勝 太閤山8丁目 松本 健三さん
- ラッキー賞(7位)太閤山1丁目 野尻長一さん

でした。今年も優勝者に米10kgを始めとして、おみやげに喜ばれる生活必需品を飛び賞、ブービー賞や参加賞に用意いたしました。参加者はそれぞれのおみやげを手に、家路につかれました。

冬の太閤山の楽しい一日、参加の皆さんは、和やかなコミュニケーションを満喫されました。

ひょうたん



冬になると、テレビではマラソンや駅伝が流れます。これがなかなかおもしろいんですね。競技の駆け引きはもとより、苦しくなっても歯を食いしばって走る姿、つい見入ってしまいます。

そして景色です。居ながらにして旅行をしている感じになります。東京、大阪、名古屋、横浜等々、大都会、田んぼの中、海沿い、山の中…これは電車の窓越しの景色以上のものがあります。

沿道に立つ人たちがいます。応援する人、写真を撮る人、会話をしている人、テレビカメラに向かってピースする人…これは電車の窓では味わえません。

往年の名選手、今は名指導者である双子の宗さんが時として解説されます。宗さんの「そうですね〜」には特段の説得力があります。アナウンサーまで「そうですね〜」なんて言ってます。

他人事ながら心配もあります。中継車は走る選手にとって邪魔にならないのか。アナウンサーや解説者は、選手と長い時間、向かい合っているけれど、目のやり場に困らないのか。(特に選手)沿道の観客の後ろで一緒に走る人、これは危ない。(すぐリタイアするけれど)中には自転車で走る強者までいる。(これは本当に危ない)

さまざまな思いで見ているとつい飲みたくなってしまふ。実はそれが言いたいだけでした。(M)